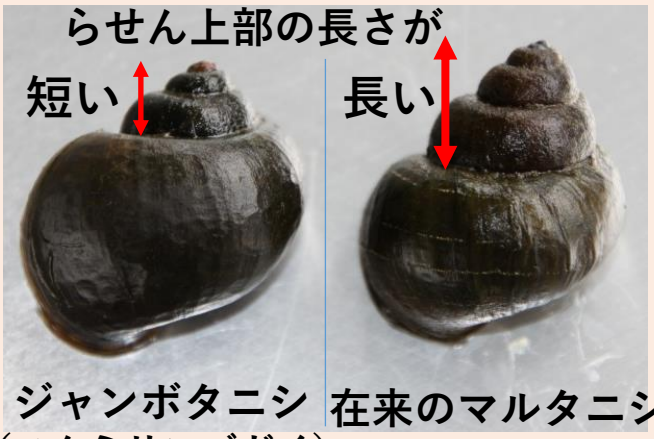
あなたの田んぼは平らですか？

均平からの総合防除



ジャンボタニシの卵塊
（１頭の年間産卵数は3,000個以上）

ジャンボタニシ対策は均平から！

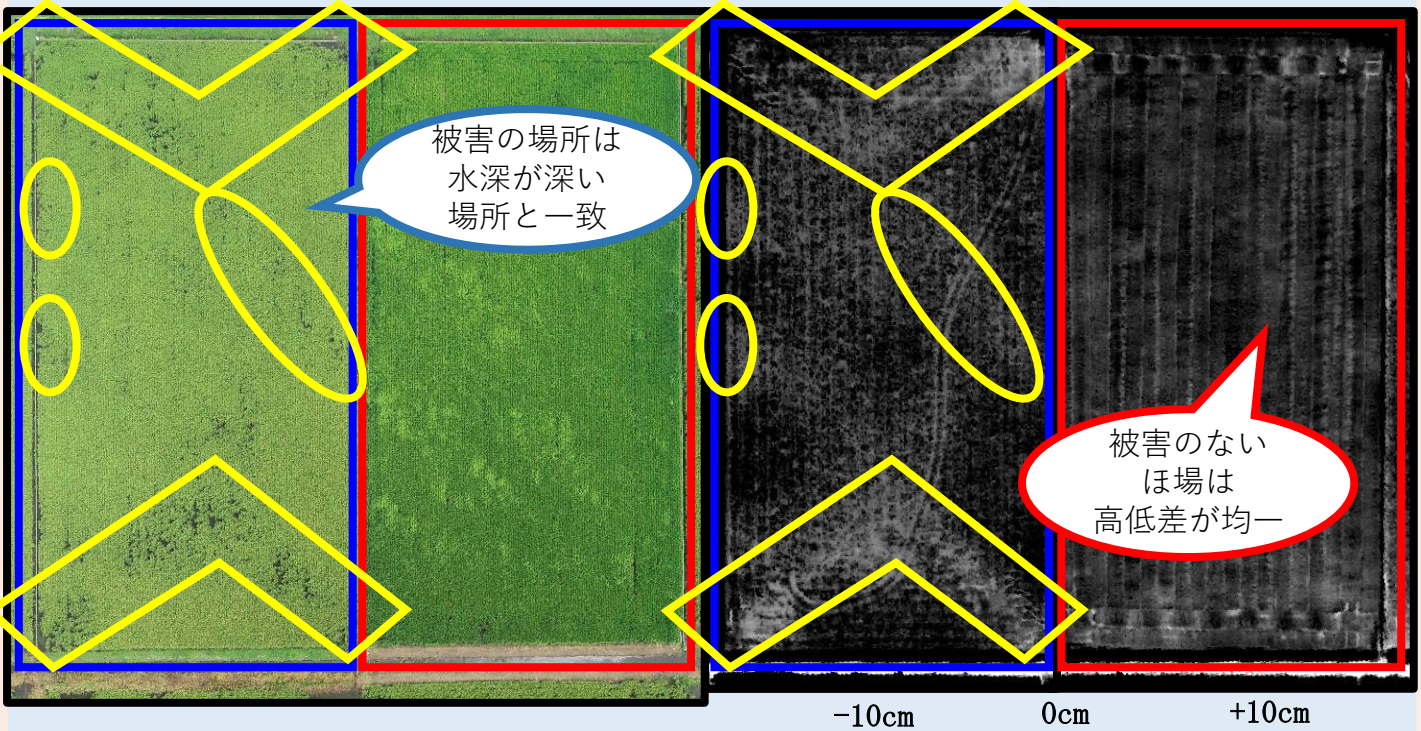
ほ場がでこぼこ⇒食害だらけ　　ほ場が均平⇒被害ゼロ！

貝がいても、隣に大発生のほ場があっても、ほ場が均平なら被害はゼロ！

あきらめずに、**STOP！ジャンボタニシ被害！**

千葉県

特に均平による浅水管理がオススメ！

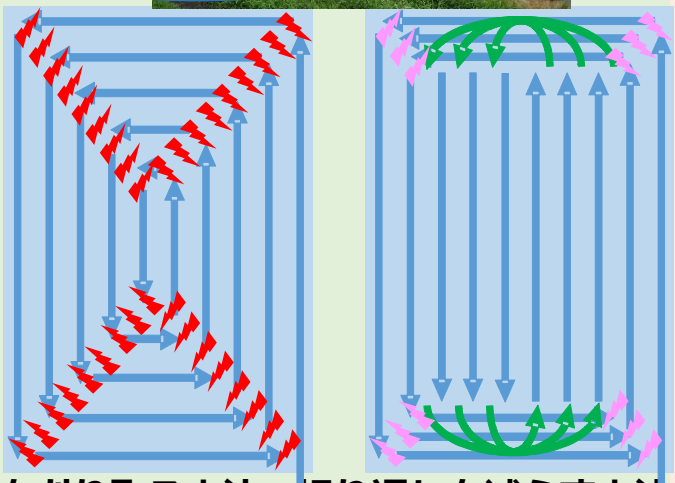


被害は水深が深い場所に集中します。

どうしてV字模様に深くなるの？

コンバインの使い方が均平度に影響を及ぼしている場合があります。

V字模様は収穫後の田面にある
コンバインの操作跡に酷似！
４辺を刈り取る方法では、クローラーの切り返し部分は低くなり、刈り始めには稲わらが落ちず土が固まってしまいます。
一方、切り返しを減らす方法では、特定の部分の土が固まったり沈んだりせず、圃場全体が均平になりやすくなります。
日ごろの作業を丁寧に行うことも有効です！



どうやって均平にする？？

水を張った時や、田植え後１か月程度の被害がよく見える時に、水深が深くなるところを記録しておきます。

冬期にレーザーレベラーや、フロントローダー、整地キャリアなどを使って、高いところから低いところへ土を移動させます。

レーザーレベラー

フロントローダー

整地キャリア

仕上げに、代かき時に水深を確認しながら均平にします。

ただし、水を張った状態だと思ったより土は動かず、また、土を練りすぎてしまうため、部分的な土の移動にとどめます。

代かき整地

均平はメリットばかり

均平にすることで、肥料や除草剤の効きが均一になります。

↓

生育が揃い、作業効率が上がります！

水管理もラクになります！

ジャンボタニシの被害が出ていてもいなくても

浅水管理ができない場合もまず均平から！

↓

均平なほ場では浅水管理ができなくても被害が少ない傾向があります。

生育ステージが進むにつれて食害は目立たなくなります！

均平＋複数の対策の組み合わせが基本！

均平

〇コンバイン収穫時は切り返しの少ない操作で行い、冬期のレーザーレベラーの利用や田植前の代かきを丁寧に行いましょう。

浅水管理

〇水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植後約３週間は水深を４cm以下（理想は１cm）に維持しましょう。

田植時・田植後の農薬散布

〇メタアルデヒド粒剤（例：スクミノン、ジャンボたにしくん、メタレックスRG粒剤）、燐酸第二鉄粒剤（例：スクミンベイト３、スクミンブルー）等の登録薬剤のいずれかで、殺貝や食害防止を図りましょう。※

＊農薬の使用にあたっては、必ず農薬登録内容(ラベル)を確認してください。

＊水温があがり(15℃以上)、貝が触角を出して活発に動いている姿を確認してから散布しましょう。

＊苗が５葉期以降になると、食べられにくくなります。
それまでの間、浅水管理をしたうえで、貝の発生が多いほ場は農薬を併用して食害を防ぎましょう。

ジャンボタニシ防除対策事業

環境農業推進課では、ジャンボタニシの防除に取り組む地域に対して支援を行っております。

①食害防止（トラップの設置や均平作業等）1,000円～15,000円/10a
（取組により異なる）

※レーザーレベラーによるほ場均平化（15,000円/10a）は、令和6年10月から追加した支援メニュー（原則委託のみ）です。

②冬期の耕うん　1,000円/10a

③水路の泥上げ　500円/m

④地域独自の対策（ボランティアの活用や化学合成農薬以外の農薬散布等）
3,000円/10a　新規追加メニュー

補助には要件があるため、下記のお問い合わせ先や、お近くの市町村までお問い合わせください。

【お問合せ】
農林水産部環境農業推進課　０４３－２２３－２８８８
または、所轄の農業事務所まで